

特 249

837

昭和八年計畫樹立

經濟更生計畫書

石川縣鳳至郡大屋村



始



特249
887

鳳至郡大屋村

役場所在地 字小伊勢日隔輪島町ヨリ一六町

本村ハ鳳至郡ノ西部ニ位シ四圍山ヲ廻ラシ面積五二、九三萬方杆、二十一部落ヨリ成リ戸數九二二戸内農業七二九戸ヲ占ムル農山村ナリ。生産物ハ農産物(米ヲ主トス)首位ヲ占メ次デ林産物(用材、木炭薪炭材)ナリ。村內各種産業並教化團體克ク協調聯絡シ何レモ好成績ヲ舉ゲ居レリ。

經濟更生樹立方針

我が國現下ノ不況益々深刻トナリ凡ユル産業ハ萎靡沈滞シ都鄙等シク窮乏シ殊ニ農村ニ於ケル生産物價ノ低落ニ依リ疲弊其ノ度ヲ加ヘ不況ノドソ底ニ喘喝タリ。

此ノ困難セル現狀ニ鑑ミ其ノ不況ヲ匡救シ農家經濟生活ノ全般的更生ノ方途ヲ講ズルハ正ニ焦眉ノ急務ナリト信ズ。

爾來政府並ニ本縣ニ於テハ農村ノ應急の各種ノ對策成リ漸次遂行ノ機運ニ至レリ。然リト雖モ是ニ依リ現下ノ農村ヲ悉ク甦生セシムルモノニアラズ其ノ由テ來レル所ヲ究メ農村自ラノ覺醒ヲ促シ其ノ禍因ヲ免除シ進ンデ農家經濟ノ安定ヲ圖リ更ニ將來ニ向ツテ農家ノ福利増進ニ邁進セザルベカラズ。

此處ニ於テ幸ヒ本縣農山漁村經濟更生委員會ニ於テ昭和八年度農村經濟更生計畫樹立村ニ選定セラレタルヲ以テ直ニ本村經濟更生委員會ヲ組織シ經濟更生計畫ヲ樹立シ各般ノ方策ヲ實施セントス。

而シテ之ガ綱要トスル所ハ農村固有ノ美風タル隣保扶助ノ精神ヲ活用シ經濟生活ノ上ニ之ヲ徹底セシメ以テ本村産業並ニ經濟ノ全般的ニ亘リ組織的計畫的刷新ヲ圖ラントスルモノニシテ單ニ經營技術ノ改



善ヲ圖ルニ止マラズ廣ク其ノ運営及組織ノ缺陷ヲ根本的ニ矯正スルニ在リ就中生産、金融、販賣、購買消費ノ各般ニ亘ツテ其ノ合理化ヲ必要トス。

然レドモ農村ノ苦境ヲ脱シ更生ノ實ヲ舉グルハ唯ニ之等施設ヲ以テ萬全ヲ期ス能ハズ村民全般ガ一身同體トナリ自奮自勵鬱勃タル愛國的热情ト牢固タル國家的信念トヲ以テ俱ニ相携ヘ更生ノ一路ヲ辿ラントスル意氣ナカルベカラズ。

農家個々ノ繁榮ハ村ノ繁榮ニシテ又國家ノ繁榮タリ全村民舉ツテ本村經濟更生計畫ノ樹立ト相俟ツテ現下ノ不況ヲ克服シ黎明大屋村ノ建設ニ邁進シ更生ノ實ヲ舉グルニ努メントス。

大屋村政一般

一、沿革

本村ハ元大屋庄ト稱シ長谷部ノ領地タリシガ明治四年廢藩置縣ニ際シテ七尾縣ニ屬シタルモ該縣廢セラレ石川縣トナルヤ第九大區小七區ニ屬シ明治十七年小伊勢村外二十三戸長役場トナル。明治二十二年町村制ヲ施行セラル、ニ當リ小池、下山、山岸ノ三村ヲ割キ、小伊勢、稻屋、長井、房田、山本、中段、水守、釜屋谷、堀、蕨野、鶴入、光浦、二ツ屋、宅田ヲ以テ大屋村トシ下黒川、上黒川、二俣、繩又、別所谷、瀧又、空熊ヲ以テ鳳至谷村ト稱セシガ明治四十一年ニ至リ是ヲ合併シテ今ノ大屋村トシ役場ヲ小伊勢ニ置キ今日ニ至レリ

二、地勢

本村ヲ抱擁スル山脈ハ概ネ急峻ナラズト雖モ大別シテ二派ノ山系トナスヲ得ベシ、始メ本部三井村ト本郷村トノ分水山脈ヨリ來リ本村最南部宇空熊ト本郷村宇貝吹ノ境ニ至リ望野知山トナリ之ヨリ二派

ニ分レ一ハ東北ヲ走リテ板ノ丹山、神明山、氣勝山ノ諸山トナリ本村ト三井村及河原田村ノ境界ヲ爲シ字宅田ニテ盡ク。一ハ北ニ走リテ本村ト西保村トノ境界ヲ爲シ輪島町鳳來山公園ヲ過ギ猫ノ地獄ノ奇岩ト爲リテ盡ク

河川ニハ鳳至川アリ本村宇空熊ノ望野知山ニ發シ村ノ中央ヲ貫流シ輪島町ニ至リ河原田川ト合シ海ニ注グ

鳳至川ノ流域ニ平野アリ地味概ネ肥沃ナリ

本村ノ東方ハ河原田村ニ接シ西方ハ西保村ニ續キ南方ハ三井村、本郷村、浦上村ニ境シ北方ハ輪島町ニ隣ル

東西ノ幅員八軒餘、南北ノ距離十六軒ニ涉リ其ノ面積五十三方軒アリ

三、職業別戸數及男女別人口

1、戸數	農業	七二九戸
	商業	二一戸
	工業	五三戸
	水産	三二戸
	其他	七〇戸
	無職	七戸
2、人口	計	九二二戸

計	男	女
	二、四五七人	二、四九八人
計		四、九五五人

四、産業及經濟ノ狀況

本村ニ於ケル生産ハ農産物ヲ第一位トシ其ノ生産總額四十萬圓ニ達セントス農業經營改善ニ依リ將來増産ノ可能性十分ニ在リ、近時擡頭セル蔬菜、果樹園藝ハ特ニ農家經濟上ニ支援スル所大ナルモノアリ宜シク之ガ指導獎勵ヲ爲サントス、然レドモ財界不況ニ由リ生産物價低落シ收支ノ均衡ヲ失スルモノアルハ遺憾トス。將來之ガ生産販賣ヲ統制セントス

昭和八年度ニ於ケル本村豫算額三萬餘圓内村稅豫算額一萬七千七百餘圓ニシテ豫算總額ノ六〇%ナリ村稅課稅ニ方リテハ村民各個ノ負擔ノ公正ニ重キヲ置キ納期内完納ノ美風ヲ舉グルニ努メントス

本村内負債總額四十八萬圓餘ニシテ主トシテ短期高利債ナリ、將來低利債借替ノ方途ヲ講ジ村民各自ノ自覺ヲ促スト共ニ積極的整理對策ヲ講ズルハ目下ノ急務ナリトス

五、村内ニ於ケル産業及經濟關係團體ノ狀況

- 1、大屋村農會
大正十二年農會法改正以前ヨリ村一圓トシテ組織セラレ農業經營上必要ナル諸般ノ施設ヲ行ヒ當業者ノ指導獎勵ニ當リ殊ニ農産物ノ生産技術ハ將來ヨリ面目ヲ一新スルニ至レリ。會員一千三百人餘經費三千七百餘圓ニシテ事業ノ主タルモノ生産販賣ノ統制、副業ノ獎勵、講習會講話會、品評會等ナリ。昭和八年技術員二名ヲ設置シ農業技術ノ改善其ノ他ニ努メツツアリ
- 2、大屋村養蠶實行組合

昭和六年蠶絲業法ノ制定ト共ニ同年十二月村一圓トスル養蠶實行組合ヲ設立セラレ養蠶ニ關スル諸般ノ改良ニ努メツ、アリ

3、光浦漁業組合

明治三十六年五月本村字光浦區ヲ一圓トスル組合設立シ漁業ニ關スル諸施設ヲ爲シ漁業經營ノ改善ニ努メツ、アリ

4、勸入漁業組合

明治三十六年五月設立シ以來漁業ニ關スル經營ノ刷新統一ヲ圖リ其ノ發達ニ努メツ、アリ

5、保證責任大屋信用販賣購買利用組合

大正十一年十二月村一圓ヲ區域トスル有限責任大屋信用販賣購買利用組合ヲ設立シ昭和七年産業組合法ノ改正ニ伴ヒ昭和八年一月保證責任ニ改正セリ

大正十五年三月農業倉庫ヲ建設シ、本年亦木炭倉庫及共同作業場ヲ設クベク目下着々計畫中ナリ

組合長以下役職員ハ日常事務ニ精勵シ成績ノ向上ニ努メツ、アリ

大屋村經濟更生委員會規程

第一條 本會ハ本村經濟ノ更生ヲ圖ル爲左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

- 一、本村經濟ノ全般的改善更生ニ關スル組織的計畫樹立上必要ナル調査研究
- 二、本村經濟更生計畫ノ樹立
- 三、石川縣農山漁村經濟更生委員會ノ審議ヲ經テ決定セラレタル本村經濟更生計畫ノ實行ノ指導督促及之ガ統制

四、其ノ他本村經濟更生ニ關シ必要ナル事項

第二條 本會ハ大屋村經濟更生委員會ト稱シ本村役場内ニ之ヲ置ク

第三條 本會ハ會長副會長各一名委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 會長ハ本村長ヲ以テ之ニ充ツ

副會長及委員ハ左ノ者ノ中ヨリ會長之ヲ囑託ス

一、村 吏 員

二、農會、產業組合、漁業組合、其ノ他各種團體ノ關係者

三、學校教職員

四、其ノ他農林漁業ニ經驗アル者

第五條 副會長及委員ノ任期ハ二箇年トス

但シ補缺ニ依リ囑託シタル者ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第六條 會長ハ會務ヲ總理ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス會長副會長共

ニ事故アルトキハ委員ノ互選ニ依リ其ノ代理者ヲ定ム

第七條 本會ニ幹事若干名ヲ置キ會長之ヲ命シ又ハ囑託ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

幹事ハ本會ノ行フ調査又ハ審議ニ參與スルコトヲ得

第八條 本會ニ必要アル場合ハ調査員若干名ヲ置クコトヲ得

調査員ハ會長之ヲ命シ又ハ囑託ス

調査員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ經濟更生ニ關スル調査及實行ノ督勵ニ従事ス

第九條 副會長、委員、幹事及調査員ニハ豫算ノ範圍内ニ於テ手當ヲ支給スルコトヲ得

大屋村經濟更生委員會統制各部ノ概要

一、統制部

1、村勢基本調査

2、村經濟更生計畫ノ樹立

3、各部ノ連絡統制

4、各種團體ノ活動促進並ニ連絡

5、其ノ他々部ニ屬セザル事項

二、生産部

1、農業經營組織ノ改善

2、土地ノ整備改良及利用方法ノ改善

3、生産方法ノ改善及統制

三、經濟部

1、金融ノ改善

2、生産物販賣ノ統制及購買配給ノ改善

3、負債整理

四、社會部

1、生活改善

- 2、教育思想
- 3、農村娛樂ノ改善
- 4、衛生思想ノ普及

大屋村經濟更生計畫基本調查要項

- 一、職業別戶數及人口
- 二、土地ノ所有分配
耕作地及林野ノ分配並ニ利用狀況
空地荒廢地ノ狀況
土地所有ノ他市町村トノ關係
- 三、生產
農業生產物
 - 1、食用農作物
 - 2、特有農作物
 - 3、果樹
 - 4、養蠶
- 畜產物
- 林產物
- 水產物

- 肥 料
- 飼 料
- 副 業
- 勞 力
- 消 費
- 經 濟
- 負 債
- 其ノ他農業經營費
- 其ノ他
- 各種團體
- 救 育
- 衛 生
- 娛 樂

大屋村經濟更生計畫書

生 產

第一章 土地

一、自作農創設維持

1、調査現況

小作反別

田 一六七町二反歩
畑 四八町六反歩

戸數

自作兼小作

三三〇戸
一八九戸

2、計畫目標

年次	田		畑		計別	戸數
	創	反	創	反		
第一	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三三〇	四六〇
第二	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三三〇	
第三	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三三〇	
第四	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三三〇	
第五	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三三〇	
計	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	六〇〇〇	一六〇〇	一六〇〇	

3、計畫實施要項

縣ノ自作農創設維持資金ノ轉貸融通

産業組合ノ資金融通

經濟更生貯金ノ勵行

自作農組合組織ノ獎勵

二、耕地買戻

1、調査現況

本村内ニ於ケル他町村住民ノ所有スル田畑面積

田 三七町七反歩

畑 三二町四反歩

2、計畫目標

十ヶ年後ニ於テ

田 二〇町歩

畑 一五町歩

3、計畫實施要項

自作地維持ヲ確實ナラシムルコト

他町村住民ヘノ耕地賣渡ノ防止

買戻資金ノ融通

買戻資金ノ爲ニスル貯金ノ勵行

三、耕地擴張改良

(一)開墾

1、現況

開墾適地面積

三二町七反歩

2、計畫目標

十ヶ年間ニ於テ開墾ヲ完成セシメントス

3、計畫實施要項

一個人又ハ數人ノ共同ヲ以テ實施セシメントス

(二) 耕地整理

1、調査現況

田總反別

四一九町五反歩(土地臺帳ニヨル)

内

耕地整理成功反別

三八町五反歩

耕地整理適地反別

一〇八町〇反歩

2、計畫目標

向フ十ヶ年間ニ於テ適地全部ノ耕地整理ヲ完成セシメントス

3、計畫實施要項

一部落又ハ數部落ヨリ成ル耕地整理組合ヲ設立セシメ實施セシメントス

(三) 用排水ノ改良

1、調査現況

本村ノ大部分ノ用排水不完全ノ爲耕地ノ管理及稻作栽培上ノ不利益大ナルモノアリ

2、計畫目標

向フ十ヶ年間ニ於テ耕地全部ノ用排水ノ改良ヲ圖ラントス

3、計畫實施要項

一部落又ハ數部落ノ共同事業ヲ以テ實施セシメントス

(四) 暗渠排水

1、調査現況

濕田ニシテ暗渠排水ヲ必要トスル面積 三二町歩

2、計畫目標

十ヶ年間ニ於テ適地全部ノ暗渠排水事業ヲ實施セシメントス

3、計畫實施要項

一個人又ハ數人共同シテ事業ヲ實施セシメントス

(五) 小設備ノ改善

耕地ニ關スル道路、堤塘、井堰、樋管、樋門、用水路等ノ小設備ノ改良新設ヲ爲サントス

1、調査現況

本村ノ耕地關係小設備ハ何レモ不完全ニシテ年々多大ノ勞力ト經費ヲ要シ且ツ耕地利用上甚ダ

困難ナルモノアリ

2、計畫目標

向フ五ヶ年間ニ於テ小設備ノ改善ヲ完成セシメ耕地ノ利用ヲ増進シ生産能率ヲ向上シ以テ生産

額ヲ増加セシメントス

3、計畫實施要項

部落ノ共同事業ヲ以テ實施セシメントス

(六) 田畑蔭樹伐採

1、現況

本村ニ於ケル田畑蔭樹ノ伐採ニ付テハ慣習的ニ勵行セラレツ、アリシモ近來之ヲ等閑シセラル、傾向ニアリ耕地利用上遺憾トス依テ之ガ勵行ヲ獎勵セントス

- 2、計畫目標
向フ五ケ年間ニ於テ耕地利用ニ差支ナキ範圍マデ蔭樹ヲ伐採セシメントス
- 3、計畫實施要項
部落ノ申合ニ依リ實施ス
産業團體ノ督勵
- 四、空地利用
- 1、調査現況
本村ニ於ケル宅地、堤塘、池沼等ノ利用甚ダ少ナキヲ遺憾トス
- 2、計畫目標
宅地ニ果樹、花卉ノ栽培ヲ爲サシムルコト
堤塘ニ蔬菜、漆樹ヲ植栽セシムルコト
池沼ニ養魚地トシテ利用セシムルコト
- 3、計畫實施要項
宅地ノ蔭樹伐採ヲ勵行セシムルコト
一戸ニ付柿其ノ他適當ノ果樹二本以上ヲ植栽スルコト
宅地ニ花壇ヲ設ケ花卉、灌木類ヲ植栽スルコト
堤塘ヲ開拓スルコト
池沼ノ養魚設備ヲ爲サシムルコト
村農會及農事改良組合ノ活動ニ依リ實施セシムルコト

第二章 經營組織ノ改善

- 一、經營組織ノ複雜化
- 1、耕種ノ改善
田畑收入金ノ増額及生産費ノ節減ヲ期スル爲左ニ依リ經營組織ノ改善ヲ斷行スルコト
必行事項
1、農家一戸當リ水田裏作一反歩以上ヲ栽培スルコト
大麥、小麥、馬鈴薯、蕁苔、紫雲英
- 2、畑地利用ノ回數増加ヲ圖ルコト
- 3、自給肥料ノ生産ヲ圖ル爲各自堆肥舎ヲ建設スルコト
- 3、大豆粕、魚肥類ハ一度飼料トシタル後肥料トスルコト
- 5、金肥ヲ節約スルコト
- 6、勤勞時間ヲ多クスルコト
- 2、副業ノ獎勵
イ、畜類飼育ノ獎勵
1、牛 馬
- A 調査現況
牛 一九〇頭 内使役用 五五頭
馬 八三頭 内使役用 六五頭
- B 計畫目標

五ヶ年間ニ於テ牛二百四十頭、馬百十頭トシ農家二戸當リ一頭ヲ飼育セシメントス

種別	年次				
	第一	第二	第三	第四	第五
計馬牛	一九五 二八〇	二一九 三〇〇	二二〇 三一五	二二三 三〇〇	二四〇 三一五

C 計畫目標實施要項

- 優良牛馬ノ購入斡旋
- 有畜組合ノ設置獎勵
- 有畜農業ノ獎勵
- 飼料ノ自給獎勵
- 飼育法ノ改良指導
- 厩肥ノ増産獎勵
- 種牛ノ共同購入

2、養 鶏

A 調査現況

鶏羽數 八一三羽
 昨年中ノ産卵數 四七、三〇〇個
 此ノ金額 九六五圓

B 計畫目標

五ヶ年後ニ於テ三千五百羽トシ鶏卵三十五萬個ヲ産卵セシメ七千圓ヲ收メントス

年次	計畫	産卵數	産卵金額
第一	一、三〇〇	〇〇〇〇	二、四〇〇
第二	二、四〇〇	〇〇〇〇	三、六〇〇
第三	三、五〇〇	〇〇〇〇	四、八〇〇
第四	四、六〇〇	〇〇〇〇	六、〇〇〇
第五	五、七〇〇	〇〇〇〇	七、二〇〇

C 計畫實施要項

- 養鶏組合ノ設置獎勵
- 養鶏組合又ハ農事改良組合單位ノ種鶏場ノ設置獎勵
- 種卵及初生雛ノ配給
- 共同育雛所ノ設置獎勵
- 飼育法ノ改良指導
- 鶏卵販賣ノ統制

3、養 豚

A 調査現況

養豚戸數 五戸
 豚頭數 一〇頭

B 計畫目標

年次	第一	第二	第三	第四	第五
戸數	一	二	三	四	五
頭數	二	四	六	八	一〇

C 計畫實施要項

優良豚ノ購入斡旋
養豚組合ノ設置獎勵
飼育法ノ指導
豚販賣ノ斡旋

ロ、養工品

1、調査現況

A 繩類	
生産戸數	七〇二戸
生産數量	六、四五四束
價額	三、四三六圓
B 苴類	
生産戸數	三五五戸
生産數量	一、二二二束
價額	九六三圓
C 吠類	
生産戸數	ナシ
生産數量	ナシ
價額	ナシ

D 其ノ他

生産戸數 七〇五戸
生産數量 四、九四五
價額 五、二八三圓

2、計畫目標
増産五ヶ年計畫

種目	生産數量	生産價格	戸數
繩類	九〇〇〇〇	一四、八八六	七三三
吠類	二〇〇〇〇	一四、八八六	三〇〇
其ノ他	六〇〇〇〇	五、七八〇	七三三
合計	一、七〇〇〇〇	三〇、〇五二	一、七六六

3、計畫實施要項

養工品組合、養工品出荷組合ノ設立促進
養工品ニ關スル小組合又ハ農事改良組合ノ活動ヲ促進シ左記事項ノ實現ヲ圖ルコト
製品ノ統一、品質ノ向上ヲ圖ルコト
養打機、製繩機、製苴機、製繩再製機等ヲ備ヘ付シメ共同使用ヲ爲スコト
販賣ノ統制ヲ圖ルコト
製品ノ品評會、競技會ノ開催

ハ、竹細工
1、調査現況

生産價額 八三圓八〇錢
生産戸數 七戸

2、計畫目標

五ヶ年間ニ於テ

一、〇〇〇圓

生産價額

三〇〇戸

生産戸數

3、計畫實施方法

製品ノ統一、品質ノ向上ヲ圖ルコト

講習會ノ開催

品評會、即賣會ノ開催

ニ、養蠶

1、調査現況

飼育戸數

三七戸

掃立數量

二、〇〇〇瓦

收繭高

一、〇〇〇貫

此ノ金額

六、〇〇〇圓

桑園反別

六町步

2、計畫目標

増産五ヶ年計畫表

年次	飼育戸數	桑園反別	掃立數量	收繭高	收繭價額
第一	四〇五〇	一八町	二、一五六	一、〇七八	六、三四八
第二	五五〇〇	一一町	三、一七五	一、一七八	七、〇五八
第三	七五〇〇	一四町	四、二八四	一、二八七	八、五二六
第四	八七五〇	一七町	五、三九三	一、三九六	九、五八四
第五	一〇八七五〇	二〇町	六、五〇二	一、五〇五	一〇、七六二

3、計畫實施要項

イ、桑苗ノ自給生産

桑接木講習會ノ開催

桑苗三萬本ヲ毎年養成シ桑園三町步ニ植栽セントス

桑接木、砧木用實生苗四萬五千本ヲ養成(反別八畝步實播ヲナス、種子一升二合)

桑苗木養成(苗圃四反步)

ロ、自給肥料ノ増産利用

間作綠肥ノ栽培

蠶糞蠶沙堆肥ノ製造

ハ、蠶具ノ共同購入

稚蠶共同飼育

ホ、蠶蛆驅除豫防ノ徹底

繭ノ販賣統制

ト、養蠶實行組合ノ活動促進
ロ、林業經營

1、森林

A 調査現況

森林總面積

五八七町九反歩

内

木材樹林

二七四町八反歩

薪炭材林

三一三町一反歩

木材伐採數量

一五、〇〇〇石

價 額

五四、〇〇〇圓

B 計畫目標

造林適地面積五四六町八反歩ノ内二四七町九反歩ニ松、杉、楡、樺等ヲ植栽セシメントス

年次	第一	第二	第三	第四	第五
面積	二五町四	三六、〇	四八、七	六一、四	七六、九
本數	七六、〇〇〇	一〇八、五〇〇	一四六、七〇〇	一八四、八〇〇	二三〇、〇〇〇

C 計畫實施要項

共同樹苗圃ノ設置

水源ノ涵養

粗悪林ノ改良
乱伐ノ防止
間伐ノ勵行及間伐材ノ利用
補植ノ獎勵
森林造成及木材加工ノ改善
簡易製材設備ノ普及
木材販賣ノ改善

2、木炭

A 調査現況

製炭數量

二三〇、〇八八貫

價 額

二九、九一〇圓

窯 數

一八六個

戸 數

二六四戸

B 計畫目標

適地面積二九八町九反歩ニ櫟ヲ植栽セシメ製炭林ノ造成ヲ爲サントス

年次	第一	第二	第三	第四	第五
植栽面積	三三町〇	四八、五	五九、七	七〇、九	八七、八

製炭ノ増産五ヶ年計畫

年次	生産數量	價額	窯ノ増設	戸數
第一	五八〇〇〇	三〇、一六〇〇圓	三	二二七六
第二	六四〇〇〇	三一、七二〇〇圓	四	二二七七
第三	六四〇〇〇	三三、八二〇〇圓	四	二二七七
第四	七〇〇〇〇	三四、四〇〇〇圓	四	二二八四
第五	七〇〇〇〇	三四、四〇〇〇圓	四	二二八四

C 計畫實施要項

製炭法ノ改良

品質ノ向上

改良窯ノ築設獎勵

木炭ノ販賣ヲ産業組合ヘ委託

薪炭林造成ノ獎勵

造林地ノ手入及補植ノ勵行

樹苗圃ノ共同設置

木炭改良ニ關スル組合設立ノ促進

3、漆 樹

A 調査現況

漆樹現在本數

天然

人工

一九、三八〇本

二〇、四九〇本

B 計畫目標

一ヶ年間五町步漆樹植栽本數三萬本宛ヲ植栽シ五年間ニ二十五町步十五萬本ノ漆樹ヲ植栽セントス尙漆樹増植實行組合ヲ一ヶ年一組合宛設置シ五ヶ年ヲ以テ五組合設立スルコト

C 計畫實施要項

樹苗ノ自給

造林造成ノ指導

漆液採取法ノ改良指導

漆液ノ販賣改善

漆樹増植實行組合設立促進及其ノ活動

二、農業經營用品ノ供給改善

1、肥料、飼料及農業藥品

購買肥料、飼料及農業藥品ハ村産業團體ト連絡協調ヲ圖リ全部産業組合ヨリ購入スルコト

2、生活必需品

村内ニ於ケル生活必需品ハ自給經濟ヲ以テ原則トシ購入品ハ主トシテ産業組合ヲ經テ購入セシムルコト

3、種 苗

村内産業團體ト協調シ優良種苗ノ購入斡旋及農産物種苗圃ヲ設置シ自給範圍ヲ擴大セシメントス

4、其ノ他農業用器具機械ハ村産業團體ト協調シ産業組合ニ於テ購買セシメントス

三、共同經營

相互扶助ノ精神ニ基キ努メテ共同作業ヲ行フコト

1、共同作業場ノ設置

昭和八年度ニ於テ産業組合ニ於テ設立セシム
村内適當ノ箇所ニ二箇所以上設置スルコト
精米、粃摺、大豆削、其ノ他

2、稚蠶共同飼育所ノ設置

現在村内二ヶ所ヲ設置セラレツ、アルモ將來養蠶戸數ノ増加ニ伴ヒ村内ニ五ヶ所ヲ設置シ利用
セシメントス

3、共同育雛所ノ設置

養鷄組合又ハ農事改良組合單位ノ共同育雛所ヲ設置シ利用セシメントス

4、共同田植

田植ノ人夫雇傭ヲ廢シ共同勞役ニ依ル田植ヲ勵行セシムルコト

四、計畫的經營ノ勵行

1、村内各種産業團體ノ活動ヲ促シ部落毎ニ年始ニ於テ農業經營方法ノ協議ヲ爲シ之ヲ實行セシメ
ントス

2、農業簿記ノ勵行ヲ強調シ農業ノ計畫的經營ノ實行ヲ確實ナラシムルコト

第三章 生産方法ノ改良及生産ノ統制

一、農産物、家畜、蠶種等ノ選擇及統一

1、現 况

本村ニ於ケル農産物、家畜、蠶種等ノ品種多様ニ亘リ生産上且ツ統制上不利益多シ

2、計畫目標

本村地勢ニ鑑ミ土地ノ狀況ヲ斟酌シ適當ノ品種ヲ選擇シ生産ノ計畫的統制ヲ圖フントス

3、計畫實施要項

村内産業關係團體ノ連絡協調ヲ圖リ農産物種子、種畜、蠶種等購入ノ斡旋ヲ爲スコト
計畫的種苗圃設置ノ獎勵

二、生産方法ノ改良及統制

1、米

A 調査現况

總 收 量 七、九五六石

價 額 一三五、八二三圓

反當收量 一石九斗五

作付反別 四〇八町步

B 計畫目標

五ヶ年後ニ反當收量平均二石四斗トシ九千八百石ノ增收ヲ目標トス

增收五ヶ年計畫表

年次	反當收量	總收量	價額
第一	二石	八、一六〇石	一、六三二
第二	二石	八、五八〇石	一、七三〇
第三	二石	八、九六〇石	一、七九〇
第四	二石	八、七五〇石	一、七〇〇
第五	四〇〇〇	九、八〇〇	一、九八〇

C 計畫實施要項

- 優良品種ノ普及統一
- 共同採種圃ノ設置獎勵及指導督勵
- 苗代改良
- 揚床及薄播ノ獎勵
- 苗代管理ノ徹底
- 肥料
 - 土壤ノ改良ヲ圖ル爲紫雪英、堆肥、厩肥ノ増施
 - 深耕ノ獎勵
 - 牛馬耕ノ獎勵
 - 正條植ノ獎勵
 - 病虫害、害虫驅除豫防ノ勵行
 - 田稗ノ除却督勵

2、蔬菜

A 調査現況

作付總反別 三九町二反
 生産額 二一、〇一五圓
 其ノ主ナルモノ

種目	作付反別	生産額
大豆	一〇八反	三、八八八圓
里芋	二八反	二、一〇〇圓
西瓜	三二反	三、七四四圓
茄子	二二反	一、八四八圓
茄子	一七反	一、七八五圓

B 計畫目標

一種目ニシテ品質多種ニ亘リ生産上、販賣上統一ヲ缺キ收益上不利益大ナルモノアリ
 五ヶ年後ニ於テ作付反別四十四町歩トシ生産額三萬圓ヲ目標トス
 増産五ヶ年計畫表

年次	作付反別	生産額
第一	四〇町	二、二〇〇圓
第二	四一町	二、二五〇圓
第三	四二町	二、三〇〇圓
第四	四三町	二、三五〇圓
第五	四四町	三、〇〇〇圓

C 計畫實施要項

優良品種ノ普及統一
 產業關係團體ノ活動促進
 栽培者ノ助成
 栽培法ノ指導督促
 販賣ノ統制
 講演會、講習會、研究發表及懇談會ノ開催
 品評會、競技會ノ開催

3、果 樹

A 調査現況

種 目	收 穫 高	本 數	價 額
其梅葡萄澁甘			
計ノ			
他 荷 柿 柿	一四、八七二 八、七二〇 三〇六〇 〇〇〇 貫	一七、四六五 四、六九五 〇〇六九 三三三	三、〇三五 五〇三 五〇三 〇〇〇 圓
七、〇二四 〇三三 四六八		一〇、六二六 〇九〇 九四〇	四、六一五 二一四 二〇〇 圓

主トシテ畑ノ畦畔、宅地等ニ點々トシテ植栽シアリ果樹園ヲ經營セルモノ少キモ近時果樹園
 藝ノ普及ニ伴ヒ經營セント志スモノ漸次多キヲ加ヘントスル傾向ニアリ此ノ際一層指導獎勵
 ヲ爲サントス

B 計畫目標

五ヶ年計畫

果樹増植ニ關スルモノ

年 次	第 一 年	第 二 年	第 三 年	第 四 年	第 五 年
其梅葡萄澁甘					
計ノ					
他 荷 柿 柿	一八、七二二 一、三九二 二、四四五 四四〇 本	一九、七九一 一、七九一 二、七〇〇 九四〇 本	一〇、八六〇 一、八六〇 三、七〇〇 三四〇 本	一〇、九二六 一、九二六 五、八〇〇 七四〇 本	一〇、二二一 一、二二一 二、二二一 〇〇〇 本

增收穫ニ關スルモノ

年 次	收 穫 高	價 額
第 一 年	九、八七五 〇、三八五 〇、五〇〇 〇〇〇〇 貫	六、五五五 〇、七四五 〇、五五〇 〇〇〇〇 圓
第 二 年	七、七二〇 〇、七二〇 〇、〇〇〇 〇〇〇〇 貫	四、四九五 〇、四九五 〇、五五〇 〇〇〇〇 圓
第 三 年	七、七二〇 〇、七二〇 〇、〇〇〇 〇〇〇〇 貫	四、四九五 〇、四九五 〇、五五〇 〇〇〇〇 圓
第 四 年	七、七二〇 〇、七二〇 〇、〇〇〇 〇〇〇〇 貫	四、四九五 〇、四九五 〇、五五〇 〇〇〇〇 圓
第 五 年	七、七二〇 〇、七二〇 〇、〇〇〇 〇〇〇〇 貫	四、四九五 〇、四九五 〇、五五〇 〇〇〇〇 圓

C 計畫實施要項

優良苗木ノ購入斡旋
 果樹園藝思想ノ普及
 果樹園藝經營ノ獎勵

病虫害驅除豫防ノ勵行
生産物ノ共同出荷
加工及貯藏ノ奨勵

4、農産加工

A 調査現況

種目	生産	高	價	額
大根 深庵		五〇〇貫		二五〇圓
瓜 奈良漬		四〇		四〇圓

B 計畫目標

五ヶ年後ニ於テ

大根澤庵漬
瓜奈良漬

二、〇〇〇貫
三〇〇〇貫

一、〇〇〇圓
三〇〇〇圓()ノ收益

ヲ目標トス

C 計畫實施要項
(勞力ノ合理化、生産品ノ商品化)

加工技術ノ指導
講習會ノ開設
品質ノ向上
販賣ノ改善統制

5、麥

イ、小麥

A 調査現況

作付反別

收量

價額

三反歩

三石

二四圓

B 計畫目標

本村ノ栽培狀況實ニ微々タルモノニシテ現下我國ニ於ケル小麥ノ需要者著シク増大シツ、アル狀況ニ鑑ミ左表ニ依リ増殖ヲ實行セントス

年次	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
作付反別	一、〇〇反	二、〇〇反	三、五反	五、〇〇反	七、〇〇反
收量	八〇〇圓	一六〇〇圓	二八〇〇圓	四〇〇〇圓	五六〇〇圓

ロ、大麥

A 調査現況

作付反別

收量

價額

二八、二反歩

四八〇石

三、三六〇圓

B 計畫目標

現下ノ生活問題並ニ人體滋養上及家畜飼料上ノ狀況ニ鑑ミ之ガ増産ノ必要ヲ認メラル
五ヶ年計畫表

年次	第一 年	第二 年	第三 年	第四 年	第五 年
作付反別	三〇、〇〇反	三一、〇〇反	三三、〇〇反	三六、〇〇反	四〇、〇〇反
收付別	四、二〇〇圓	四、四〇〇圓	四、七〇〇圓	五、五三〇圓	六、一六〇圓
價額	四、二〇〇圓	四、四〇〇圓	四、七〇〇圓	五、五三〇圓	六、一六〇圓

Cイ、ロ、計畫實施要項

- 水田裏作獎勵
- 優良品種ノ普及統一
- 栽培法ノ改良
- 實地指導地ノ設置
- 採種圃ノ設置
- 實地指導
- 競技會
- 販賣ノ統一
- 飼料ノ自給

6、甘 藷

A 調査現況
作付反別

九町歩

收 量 二七、〇〇〇貫
價 額 一、六二〇圓

B 計畫目標

荒廢畑地ノ開墾等ニ依リ五ヶ年間ニ於テ作付反別十二町歩、收量四萬貫、價額二千圓ヲ目標トス

年次	第一 年	第二 年	第三 年	第四 年	第五 年
作付反別	九三反	九三反	九三反	九三反	九三反
收付別	一一〇〇圓	一一〇〇圓	一一〇〇圓	一一〇〇圓	一一〇〇圓
價額	一一〇〇圓	一一〇〇圓	一一〇〇圓	一一〇〇圓	一一〇〇圓

C 計畫實施要項

- 優良品種ノ普及統一
- 苗床ノ設置獎勵
- 栽培法改良指導
- 貯藏法ノ指導
- 販賣ノ統制
- 7、馬 鈴 薯
- A 調査現況
作付反別

一二〇反歩

收量 三六、〇〇〇貫
 價額 一、八〇〇圓

B 計畫目標
 荒廢地ノ開墾利用等ニ依リ作付二十町歩、價額三千圓ヲ目標トス

年次	作付反別	收量	價額
第一	一〇〇〇反	四四〇〇貫	二二〇〇圓
第二	一〇〇〇反	四四〇〇貫	二二〇〇圓
第三	一〇〇〇反	四四〇〇貫	二二〇〇圓
第四	一〇〇〇反	四四〇〇貫	二二〇〇圓
第五	一〇〇〇反	四四〇〇貫	二二〇〇圓

C 計畫實施要項

- 優良品種ノ普及統一
- 水田裏作栽培奨勵
- 種子ノ自給
- 栽培法ノ改良指導
- 販賣ノ統制

8、自給肥料
 A 調査現況

種類	堆肥	生肥	産高	備考
鶏糞	二四七〇〇貫		二四七〇〇貫	牛一九〇頭 馬八三頭
厩肥	六五〇〇〇貫		六五〇〇〇貫	

B 計畫目標
 自給肥料増産五ヶ年計畫

年次	堆肥	厩肥	鶏糞
第一	一〇〇〇〇貫	三二〇〇〇貫	二二〇〇〇貫
第二	一〇〇〇〇貫	三二〇〇〇貫	二二〇〇〇貫
第三	一〇〇〇〇貫	三二〇〇〇貫	二二〇〇〇貫
第四	一〇〇〇〇貫	三二〇〇〇貫	二二〇〇〇貫
第五	一〇〇〇〇貫	三二〇〇〇貫	二二〇〇〇貫

C 計畫實施要項

- 農事改良組合又ハ個人ニ於テ實施ス
- 堆厩肥舍建設奨勵
- 鶏糞利用ノ増進
- 金肥ノ節約

第四章 漁業經營ノ改善

- 一、沿海漁業
- 1、調査現況
- 漁船 六〇隻
 - 總漁獲高 七、一八七圓
 - 漁家戸數 三二戸
 - 專業 三二戸

2、計畫目標

昭和九年ヨリ五ケ年間ニ於ケル計畫年次

年次	漁	船	漁	獲	高	備	考
第一		六六六		七	七〇〇〇		
第二		六六六		七	七〇〇〇		
第三		六六六		七	七〇〇〇		
第四		六六六		七	七〇〇〇		
第五		六六六		七	七〇〇〇		

3、計畫實施要項

從來ノ個人經營ヲ共同經營タラシムル様指導ス
 低利資金ヲ利用セシメ共同施設ノ普及徹底ヲ圖ルコト
 漁船漁具ノ改善ヲ圖ルコト
 漁業ニ關スル講習會及講話會ヲ開催スルコト
 船溜、船揚場ノ設置ヲ爲スコト
 各種乾場ノ設置ヲ爲スコト
 魚附林其ノ他漁業ニ關シ必要ナル森林ノ保護及其ノ設置ヲ爲スコト
 販賣ノ統制ヲ圖ルコト
 單獨販賣ヲ廢シ共同販賣又ハ聯合機關ノ利用
 漁業組合ノ活動ヲ促進セシムルコト

二、水産増殖

1、調査現況

漁獲高

五七九圓

内

藻類

二八四圓

貝類

二九五圓

2、計畫目標

昭和九年ヨリ五ケ年間ニ漁獲高一、〇〇〇圓ヲ目標トス

3、計畫實施要項

漁業組合ヲ指導督勵シ専用漁場内ニ於ケル貝類ノ増殖ヲ圖ルコト
 投石、磯掃除「コンクリート」面ノ築設ヲ爲スコト
 輪採區ヲ設クルコト

三、水産加工

1、調査現況

生産總額

八九〇圓

2、計畫目標

昭和九年ヨリ五ケ年間ニ生産總額一、五〇〇圓ヲ目標トス

1、特産物ノ造成

2、生産物ノ商品化

3、計畫實施要項
 加工技術ノ指導
 講師ヲ聘シ講習會ノ開催
 共同加工場ノ設置
 販賣法ノ改善、販路ノ調査、試賣宣傳ニ努ムルコト

計畫實施後ニ於ケル農業收入對比表

種目	現況		計畫實施後ノ狀況		差引增收
	經營數量	總收量	經營數量	總收量	
米	四〇八町〇	七、九五六石	四〇八町〇	九、八〇〇石	一、八三四〇圓
果實	一〇、六九本	七、〇四六貫	一〇、六九本	九、〇〇〇貫	一、九五四圓
小麥	〇町三	五、四〇貫	〇町三	七、〇〇〇貫	一、五九六圓
大豆	二町八	四、八〇貫	二町八	六、〇〇〇貫	一、二〇〇圓
甘藷	二町〇	二、七〇貫	二町〇	三、〇〇〇貫	〇、三〇〇圓
馬鈴薯	八三羽	七、三〇貫	八三羽	八、〇〇〇貫	〇、七〇〇圓
養蠶	二町〇	二、七〇貫	二町〇	三、〇〇〇貫	〇、三〇〇圓
竹工	七〇月	一、二〇貫	七〇月	一、二〇貫	〇圓
木炭	七〇月	一、二〇貫	七〇月	一、二〇貫	〇圓
肥料	三〇月	一、二〇貫	三〇月	一、二〇貫	〇圓
計	一一一	二六、七〇〇貫	一一一	三三、〇〇〇貫	六、三〇〇圓

生産増加計畫一覽表

種目	現況	計				
		第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
米	三、五、八三三	一、六三、二〇〇	一、七二、六六〇	一、七九、五〇〇	一、八七、七〇〇	一、九六、〇〇〇
果實	二、〇、〇五五	二、九、九五五	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇
小麥	四、六、二五五	四、七、〇〇〇	四、九、五〇〇	五、〇、〇〇〇	五、〇、〇〇〇	五、〇、〇〇〇
大豆	二、九〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
甘藷	三、三、六〇〇	三、四、〇〇〇	三、四、〇〇〇	三、四、〇〇〇	三、四、〇〇〇	三、四、〇〇〇
馬鈴薯	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇
養蠶	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇
竹工	九、六、八二二	九、九、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇
木炭	六、〇、〇〇〇	六、三、〇〇〇	六、三、〇〇〇	六、三、〇〇〇	六、三、〇〇〇	六、三、〇〇〇
肥料	七、五、二五五	八、四、五〇〇	八、四、五〇〇	八、四、五〇〇	八、四、五〇〇	八、四、五〇〇
計	三三、八、四三三	三三、八、一八八	三三、八、一八八	三三、八、一八八	三三、八、一八八	三三、八、一八八

負債整理計畫表

經濟更生計畫實施ニ伴フ生産増加金額及消費節約ニ依ル剩餘金ヲ負債償還ニ充當スルトキ
 利率年一割トス

年次	未償還元金	償還元金	利子	計	生産増加ニ依ル償還元金	消費節約ニ依ル償還元金	計
第 一 年	四八三、二九〇	一、六〇四	四八、三二九	四九、九三三	三五、三四六	一、四四一	四九、九三三
第 二 年	四八二、六八六	一、七〇四	四八、一六九	四九、八七三	三五、九二一	一、四四一	四九、八七三
第 三 年	四六四、三九二	一、七〇九	四六、四二九	四八、一三八	三五、〇三三	一、四四一	四八、一三八
第 四 年	四二六、八一三	一、六〇八	四二、六八一	四三、二八九	三五、〇三三	一、四四一	四三、二八九
第 五 年	三六五、七〇六	一、五五九	三七、五八七	三九、一四六	一〇、八七八	一、四四一	三九、一四六
第 六 年	二七五、九六六	一、五〇三	二七、八八九	二九、四〇二	一〇、八七八	一、四四一	二九、四〇二
第 七 年	一八三、四三〇	一、四三二	一八、三〇三	一九、七三五	一〇、八七八	一、四四一	一九、七三五
計	六、三〇八	一、三〇八	二七、八三二	三〇、一六八	六四、二八二	一、四四一	三〇、一六八

經濟 第一章 産業組合ノ活動促進

一、組合加入

1、調査現況

区域内戸數 九二二戸
 加入戸數 五五一戸
 未加入戸數 三七一戸

2、計畫目標

年次	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
加入戸數	五五五	五六〇	六〇五	六三五	六六〇

3、計畫實施要項

極力組合加入ヲ勸誘シ区内全戸數ノ七割以上ヲ加入スベク強調ス
 産業組合趣旨ノ普及宣傳

二、販賣

1、米

A 調査現況 七、九五六石
 總收穫高

内

村内消費量 六、一〇〇石
 産業組合販賣數量

組合以外ノ販賣數量

B 計畫目標

五ヶ年間ニ於テ左表ニ依リ産業組合ヲシテ統制セシメントス

年次	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
販賣統制數量	三〇%	四五%	五三%	五八%	六五%

C 計畫實施要項

組合加入者ハ其ノ販賣ヲ常ニ産業組合ニ委託スルコトヲ極力勸誘スルコト
 農業倉庫利用ヲ奨励スルコト
 2、木 炭

A 調査現況

總生産數量

五七、五二二俵

内

産業組合取扱數量

産業組合以外ノ取扱數量

B 計畫目標

年次	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
販賣統制數量	三〇%	四五%	五三%	六二%	七〇%

以上ニ依リ産業組合ヲシテ統制セシメントス

C 計畫實施要項

産業組合ヲシテ木炭倉庫ヲ建設セシムルコト

組合員ノ製炭ハ全部産業組合ニ委託シ組合販賣ト爲スコトヲ強調スルコト

3、藁工品

A 調査現況

生産總額

九、六八二圓

内

村内消費額

七、三三〇圓

販賣額

二、三五二圓

産業組合ニ於テ取扱フモノナシ

B 計畫目標

五ヶ年後ニ於テ販賣數量ノ百パーセント取扱ハシメントス

第一年

二〇%

第二年

四〇%

第三年

六〇%

第四年

八〇%

第五年

一〇〇%

C 計畫實施要項

産業關係機關ト連絡協調シ村内製品ハ全部産業組合ニ於テ販賣セシムルコトヲ強調スルコト

三、購買

1、肥料

A 調査現況

金肥消費總額

六、八〇〇圓

内

組合取扱額

五、六四三圓

組合以外ノ取扱額

一、一五七圓

B 計畫目標

金肥ノ使用ハ現在ノ消費量ヲ限度トシ左ニ依リ金肥ノ取扱ヲ爲サシメントス

第一年

八四%

第二年 八六%
 第三年 八九%
 第四年 九二%
 第五年 九五%

C 計畫實施要項

組合主義ニ依リ系統機關ト完全ナル配給網ヲ作ルコト

2、日用品

A 調査現況

總消費額 五七、〇〇圓
 内

産業組合取扱額 六、七七五圓
 産業組合以外ノ取扱額 五〇、二二五圓

B 計畫目標

日用品ノ自給範圍ノ擴充ト生活改善消費節約ニ依リ購買額ヲ減少セシムルト共ニ産業組合ニ於ケル販賣ヲ擴大ナラシメントス

年次	組合取扱	組合以外ノ取扱	消費額
第一	一、一八五%	八、二五%	五、二五%
第二	二、一八五%	七、二五%	六、二五%
第三	三、一八五%	六、二五%	五、二五%
第四	四、一八五%	五、二五%	四、二五%
第五	五、一八五%	四、二五%	三、二五%

C 計畫實施要項

組合員ヲシテ購買ノ趣旨ヲ理解セシムルコト

日用品ノ自給原則ヲ重ンゼシムルコト

購買品ハ實質ヲ重ンジ全購聯獎勵ノ物品ヲ取扱フコト

日用品ハ可成組合品ヲ消費セシムルコトヲ強調スルコト

4、出資ノ増加

A 現況

昭和七年度事實

出資一口 二〇圓

出資口數 六七八口

出資總額 一三、五六〇圓

拂込濟出資金 一二、一二〇圓

未拂込出資金 一、四四〇圓

B 計畫目標

十箇年計畫

年次	出資口數	出資總額	拂込濟出資金	未拂込出資金
第一	七九〇	三、八〇〇	三、〇〇〇	八〇〇
第二	七四五	四、三〇〇	三、五〇〇	八〇〇
第三	七四〇	四、八〇〇	四、〇〇〇	八〇〇
第四	七三五	五、三〇〇	四、五〇〇	八〇〇
第五	七三〇	五、八〇〇	五、〇〇〇	八〇〇
第六	七二五	六、三〇〇	五、五〇〇	八〇〇
第七	七二〇	六、八〇〇	六、〇〇〇	八〇〇
第八	七一五	七、三〇〇	六、五〇〇	八〇〇
第九	七一〇	七、八〇〇	七、〇〇〇	八〇〇
第十	七〇五	八、三〇〇	七、五〇〇	八〇〇

C 計畫實施要項

組合總會ノ決議ヲ經テ實施セントス

第二章 金融ノ改善

一、貯金ノ獎勵

1、更生貯金

年次	人員	金額
第一年度	六〇人	一、〇二九圓
第二年度	八〇人	二、四〇一圓
第三年度	一〇〇人	三、七七三圓
第四年度	一二〇人	五、一四五圓
第五年度	一四〇人	六、五一七圓

2、兒童貯金

年次	元	金	利	子	計
第一年度	三一八	〇〇〇	六	三	三二四
第二年度	四二二	〇〇〇	九	一	四三一
第三年度	六四九	〇〇〇	一	七	六六〇
第四年度	九七九	〇〇〇	一	七	一〇〇七
第五年度	一、三七八	〇〇〇	一	七	一、三九六

兒童五三〇人ヲシテ毎月五錢宛ヲ貯金セシメ五箇年後ニ於テ 一、七九四圓二三錢トナシ兒童ノ貯蓄心ノ涵養ニ努メントス

大屋村經濟更生計畫書補輯第二號

經濟

第二章 金融ノ改善

専ラ産業組合金融ヲ利用スルコト

イ、除裕金及各種貯金ハ産業組合ニ預入シ資金ノ流出ヲ防止スルコト

ロ、他町村ノ金融機關ニ預入ノ貯金ハ漸次産業組合ニ預入替ノ督勵ヲ爲シ流出資金ノ回收ヲ圖ルコト

一、貯金ノ獎勵

勤儉貯蓄ノ美風ノ涵養ヲ圖リ各種貯金ヲ爲サシムルコト

1、更生貯金

毎月一定ノ金額ヲ其ノ收入ノ程度ニ基キ貯金セシム

3、一般貯金ノ獎勵

種別	第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度
出生組貯金	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇
教育組貯金	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇
報功貯金	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇
其他貯金	一〇、七〇〇	一〇、八〇〇	一〇、八〇〇	一〇、八〇〇	一〇、三〇〇
計	一〇、七〇〇	一〇、八〇〇	一〇、八〇〇	一〇、八〇〇	一〇、三〇〇

出產ノ際産着等ノ費用ヲ節約シ貯金セシム

年次	元	金	利	子	計
第1年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第2年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第3年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第4年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第5年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第6年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第7年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第8年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第9年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第10年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
計	100,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	102,000,000

E 元金百圓ニ付年利一割二分ノ償還計畫

年次	元	金	利	子	計
第1年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第2年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第3年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第4年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第5年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第6年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第7年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第8年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第9年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
第10年	10,000,000	100,000	100,000	100,000	10,200,000
計	100,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	102,000,000

2、負債償還十箇年計畫

A 第一次十箇年計畫

元金十五萬圓 年利八分

年次	償還元金	利子	計	生活改善ニ依ル償還金	農業經營改善ニ依ル償還金	負債償還貯蓄ニ依ル償還金	計
第1年	15,000,000	1,200,000	16,200,000	8,000,000	3,000,000	5,200,000	16,200,000
第2年	14,000,000	1,120,000	15,120,000	8,000,000	3,000,000	4,120,000	15,120,000
第3年	13,000,000	1,040,000	14,040,000	8,000,000	3,000,000	3,040,000	14,040,000
第4年	12,000,000	960,000	12,960,000	8,000,000	3,000,000	1,960,000	12,960,000
第5年	11,000,000	880,000	11,880,000	8,000,000	3,000,000	880,000	11,880,000
第6年	10,000,000	800,000	10,800,000	8,000,000	3,000,000	800,000	10,800,000
第7年	9,000,000	720,000	9,720,000	8,000,000	3,000,000	720,000	9,720,000
第8年	8,000,000	640,000	8,640,000	8,000,000	3,000,000	640,000	8,640,000
第9年	7,000,000	560,000	7,560,000	8,000,000	3,000,000	560,000	7,560,000
第10年	6,000,000	480,000	6,480,000	8,000,000	3,000,000	480,000	6,480,000
計	150,000,000	12,000,000	162,000,000	80,000,000	30,000,000	52,000,000	162,000,000

年次	償還元金	利子	計	生活改善ニ依ル償還金	農業經營改善ニ依ル償還金	負債償還貯蓄ニ依ル償還金	計
第1年	15,000,000	1,200,000	16,200,000	8,000,000	3,000,000	5,200,000	16,200,000
第2年	14,000,000	1,120,000	15,120,000	8,000,000	3,000,000	4,120,000	15,120,000
第3年	13,000,000	1,040,000	14,040,000	8,000,000	3,000,000	3,040,000	14,040,000
第4年	12,000,000	960,000	12,960,000	8,000,000	3,000,000	1,960,000	12,960,000
第5年	11,000,000	880,000	11,880,000	8,000,000	3,000,000	880,000	11,880,000
第6年	10,000,000	800,000	10,800,000	8,000,000	3,000,000	800,000	10,800,000
第7年	9,000,000	720,000	9,720,000	8,000,000	3,000,000	720,000	9,720,000
第8年	8,000,000	640,000	8,640,000	8,000,000	3,000,000	640,000	8,640,000
第9年	7,000,000	560,000	7,560,000	8,000,000	3,000,000	560,000	7,560,000
第10年	6,000,000	480,000	6,480,000	8,000,000	3,000,000	480,000	6,480,000
計	150,000,000	12,000,000	162,000,000	80,000,000	30,000,000	52,000,000	162,000,000

B 第二次十箇年計畫

元金十五萬圓 年利八分

年次	償還元金	利子	計	生活改善ニ依ル償還金	農業經營改善ニ依ル償還金	負債償還貯蓄ニ依ル償還金	計
第1年	15,000,000	1,200,000	16,200,000	8,000,000	3,000,000	5,200,000	16,200,000
第2年	14,000,000	1,120,000	15,120,000	8,000,000	3,000,000	4,120,000	15,120,000
第3年	13,000,000	1,040,000	14,040,000	8,000,000	3,000,000	3,040,000	14,040,000
第4年	12,000,000	960,000	12,960,000	8,000,000	3,000,000	1,960,000	12,960,000
第5年	11,000,000	880,000	11,880,000	8,000,000	3,000,000	880,000	11,880,000
第6年	10,000,000	800,000	10,800,000	8,000,000	3,000,000	800,000	10,800,000
第7年	9,000,000	720,000	9,720,000	8,000,000	3,000,000	720,000	9,720,000
第8年	8,000,000	640,000	8,640,000	8,000,000	3,000,000	640,000	8,640,000
第9年	7,000,000	560,000	7,560,000	8,000,000	3,000,000	560,000	7,560,000
第10年	6,000,000	480,000	6,480,000	8,000,000	3,000,000	480,000	6,480,000
計	150,000,000	12,000,000	162,000,000	80,000,000	30,000,000	52,000,000	162,000,000

債務ノ多額ナルモノニ付右計畫ニ基キ償還ヲ實施セントス

三、計畫實施要項

- 1、低利債借替
- 2、産業組合低利資金融通

- 3、個人貸借利率低下ノ斡旋
- 4、負債整理組合設立ノ促進
- 5、負債償還ノ爲ニ更生計畫ニ基ク益金貯蓄ノ強調

第四章 販賣統制

生産物ハ凡テ需要者ノ嗜好、移推ニ鑑ミ品質ノ向上ヲ前提トシ品種ヲ統一シ商品價値ヲ高メ加工又ハ貯藏ヲ奨勵シ總テ共同販賣ニ依リ收益ノ増加ヲ圖ラントス

種目	現況		販賣高		販賣統制	計畫目標	計畫實施要項
	生産	村内消費高	販賣高	販賣高			
馬鈴薯	三六〇〇〇〇	九〇〇〇	二六〇〇〇	五〇〇〇	三〇%	五〇〇〇	産業組合及産業關係團體ノ連絡ニ依リ實施セントス
甘藷	二七〇〇〇	一〇〇〇	一五〇〇〇	四〇〇〇	二五%	五〇〇〇	
農産加工	七〇〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇	一五%	五〇〇〇	
蔬菜	一七〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇	一〇%	五〇〇〇	
木材	二五〇〇〇	一〇〇〇	一五〇〇〇	四〇〇〇	一〇%	五〇〇〇	
炭	一七〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇	一〇%	五〇〇〇	
藥品	四七〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇〇	八〇〇〇	一〇%	五〇〇〇	
繭	九三〇〇〇	二〇〇〇	六〇〇〇〇	一〇〇〇	一〇%	五〇〇〇	
小麦	七九五六石	六二〇〇石	一八五六石	九〇〇石	九%	六五%	
其他	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇%	〇〇〇〇	

備考 生産ノ部参照
販賣統制ニ關シ縣ノ助成規程アリ

社 會

第一章 消費節約並ニ生活改善

- 一、物資ノ浪費濫用ヲ慎ミ日常生活ノ改善ヲ圖ルコト
 - 1、各自務メテ混食ヲナシ米ハ可成七分搗米トスルコト
 - 2、酒店其ノ他ニ於テ猥リニ他人ヲ強要シテ飲酒ヲ爲サルコト、其ノ他ノ場合ニ於テモ可成飲酒ヲ節約スルコト
 - 3、各自質素ヲ旨トシ身分不相應ノ贅澤品ヲ購セザルコト
 - 4、營利ヲ目的トスル興行ノ通券ノ配布ハ謝絶スルコト
 - 5、家屋其ノ他ノ建物ノ建築及修繕ハ實用的ニシテ堅牢ナルヲ旨トスルコト
 - 6、五ヶ年間ハ可成衣類ノ新調ヲ見合ハスコト
 - 7、諸集會々合ニハ木綿服ヲ着用スルコト
- 二、社交上ノ虚禮ヲ廢シ贈答宴會等ヲ節約スルコト
 - 1、年末年始及中元見舞等ノ贈答ハ可成之ヲ廢スルコト
 - 2、軍人入退營ノ際ハ神前ニ於テ簡單ナル祝盃ヲ舉ゲ個人宅ニ於ケル宴會ハ之ヲ廢止スルコト
 - 3、軍人入退營ノ際ニ於ケル幟色旗ノ贈與ハ之ヲ廢止シ各戸ニ國旗ヲ掲揚シテ歡送迎スルコト
 - 4、退營軍人ノ土産物ハ之ヲ全廢スルコト
 - 5、宴會ハ努メテ減少スルコト
 - 6、祭典儀式等ニ於ケル酒食ハ簡素ヲ旨トスルコト

三、冠婚葬祭ヲ簡素ニスルコト

- 1、婚禮ノ式服及調度品ハ質素ヲ旨トシ必需品ニ止メ奢侈ニ亘ラザルコト
- 2、嫁入りノ道具ハ身分相應トスルコト
- 3、嫁入りノ土産物ハ可成之ヲ廢スルコト
- 4、葬儀ニ於ケル會葬者ニ對スル酒類ノ饗應ハ廢止スルコト
- 5、葬式ノ造花類ハ金銀ヲ用ヒザルコト
- 6、葬儀法會ノ献立ハ簡素トスルコト
- 7、葬儀ノ共同備付品ヲ調製使用スルコト

四、時間ヲ嚴守スルコト

- 1、諸集會訪問等ノ場合ハ所定ノ時間ヲ確守スルコト
- 2、訪問ハ用件ヲ先ニシ雜談ハ可成廢シ用濟次第辭去スルコト

五、其ノ他

- 1、冬季節ハ夜業ニ努ムルコト
 - 2、廢物利用ニ努ムルコト
 - 3、日用品ハ可成現金買ヲ本旨トスルコト
 - 4、生活ハ簡易ナラシムルコト
- 實施要項
- 1、講演會開催
 - 2、座談會開催

第二章 教

育

一、家庭教育

- 1、乳幼兒期ノ營養ニ注意シ心身共ニ完全ニ發育セシムルコト
- 2、父母兄弟ハ常ニ子弟ニ對シ家庭教師タル自信ヲ以テ其ノ行ヲ慎ミ教養ニ努ムルコト

二、學校教育

- 1、學校教育ヲシテ郷土ノ實際ニ即セシムルコト
- 2、勤勞主義ヲ重視スルコト
- 3、農業趣味ヲ助長シ共同一致ノ精神ヲ陶冶スルコト
- 4、産業組合主義ヲ理解セシムルコト
- 5、學校營繕設備等ハ常ニ時代ノ進進ニ伴ハシムルコト
- 6、小學校ニ於ケル模範購買組合ノ設置

三、社會教育

- 1、建國ノ大義ニ則リ大ニ國民精神ヲ作興スルニ努ムルコト
- 2、隣保團結、共存共榮ノ實ヲ擧ゲ社會生活ノ完全ヲ期スルニ努ムルコト
- 3、教化團體等互ニ連絡提携シ家庭生活ノ改善ハ勿論樂園ノ郷土建設ニ努メ敬神崇祖ノ念ヲ敦クシ敬虔ナル人格ノ養成ニ努ムルコト

- 4、青年團、青年訓練所、女子青年團等ニ於テハ公民的教養ヲ重視シ自治共同ノ精神ヲ涵養シ且實行ヲ尙ヒ勤勞ヲ愛行スル精神ヲ作興スルコト
- 5、通年制實業補習學校ノ設置促進ニ努ムルコト
- 6、農村文化ノ向上ニ努ムルコト
- 7、農村娛樂ノ研究及之ガ設備ヲナスコト

實施要項

- 1、講演會、映畫會ノ開催
- 2、各種團體ノ活動促進

第三章 保健衛生並保安

一、衛生

- 1、衣食住ノ衛生ニ留意シ清潔、整頓ニ注意スルコト
- 2、心身ノ鍛鍊ニ留意シ體位ノ向上ニ專念スルコト
- 3、食物ノ榮養價值及生理衛生ニ適合ヲ計ルコト
- 4、學校ニ於ケル兒童ノ身體檢査ノ結果ハ家庭衛生上ニ留意スルコト
- 5、肺結核、トラホームノ治療豫防ニ專念シ根治ニ努ムルコト
- 6、寄生虫ノ驅除豫防ニ努メ根絶ノ方法ヲ講ズルコト

二、保安

- 1、火災豫防ニ關シテハ自衛消火器具ヲ備付クルコト
- 2、火氣ノ取扱ニ注意スルコト

- 3、戸締ヲ嚴重ニシ盜難豫防ニ留意スルコト
- 4、其ノ他災害防除ニ注意スルコト

實施要項

- 1、講演會、映畫會ノ開催
- 2、ポスター揭示
- 3、健康診斷
- 4、衛生設備ノ充實
- 5、衛生施設ノ勵行
- 6、村醫ノ活動促進

生活様式改善ニ依ル剩餘見込額

被服費	娛樂及交際費	嗜好費	其ノ他	計
二〇、〇〇〇	二一、五八〇	一五、三八〇	四、四四七	六一、八二八
二、〇〇〇	三、二四	二、三七	四、四四	九、二八

備考 一割五分ノ節約ヲ目安トス

一戸當節約額 九圓二十八錢

本村全戸數 九百二十二戸ニ對スル節約額 八千五百五十六圓十六錢

冠婚葬祭費等節約ニ依ル剩餘見込額

二萬九千五百三十圓

冠婚葬祭費總額

五千六百三十一圓

同 節約額

其ノ他 二千五百圓
 同 節約額 四百圓
 合計 (總節約額) 三萬二千三十圓
 (節約額) 六千三十一圓
 消費節約總額 一萬四千五百八十七圓十六錢

經濟更生計畫實行機關

- 一、村 各種團體ノ連絡協調ヲ圖リ計畫樹立ノ趣旨ヲ徹底セシメ銳意指導督勵ヲ爲シ以テ計畫ノ實行ヲ期ス
- 二、村農會 計畫事項ノ徹底ヲ期スベク各種產業小團體ト連絡協調及之等活動ヲ促シ經營及生産ノ改善等直接其ノ指導督勵ニ當リ其ノ實行ニ努ム
- 三、產業組合 村金融ノ改善統制、生産物ノ販賣統制、經濟用品ノ配給統制等産業經濟ノ改善ヲ爲シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養シ計畫遂行ニ努ム
- 四、其ノ他ノ團體 青年團及青年訓練所ハ名譽アル歴史ト誇ルベキ堅實ノ特徴ヲ中心トシ本計畫ノ中堅活動ヲナシ各種團體ノ計畫ヲ圓滑ニ發展スベク努メ兼テ智徳ノ修養ヲ怠ラズ積極的ニ體育ヲ勵行シ健全ナル農村娛樂ノ建設ヲ爲スニ努ム

大屋村字別人口戶數及土地地積

字	名	人口	戶數	田	畑	宅	地	其ノ他
小	伊勢	二六八	四六	三六、四一四	六三、二二四	八、七三六	一、七〇〇	一、七〇〇
長	井屋	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
房	本田	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
山	段本	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
中	守谷	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
水	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
釜	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
敷	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
輪	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
光	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
二	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
上	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
下	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
二	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
繩	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
別	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
空	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
計	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
所	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
黑	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
黑	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
ツ	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
屋	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇
伊	野入	一八二	三七	二七、九〇九	一六、五三九	七、三三〇	一、八〇〇	一、八〇〇

備考 土地々積ハ土地臺帳ニヨル
 田耕作現在地積 四百九町步
 畑同 三百五十七町步



昭和十一年九月
昭和十一年九月
二十日發行

【非賣品】

發行所 大屋村役場

石川縣鳳至郡大屋村字釜屋谷ノ九十六

編輯兼發行人

高

森

榮

石川縣鳳至郡輪島町字河井町二部百六番地

印刷人

牧

野

耕

三

石川縣鳳至郡輪島町字河井町二部百六番地

印刷所

牧

野

風

文

堂

終

